

業務改善の追求と地域に密着した採用が 独創的な製品を生む製品開発力の源泉

日本発のプッシュホン電話のデザインを考案した同社社長が、工業用デザインの会社として紙と鉛筆だけで1983年に創業した。特許をはじめとした知的資産を活かしながら、設計から加工・組立、販売までを一手に手掛け、ものづくりを中心に次々と新製品を開発している。主力製品は、前開き式のポスターパネル（欧米・アジア主要12カ国で1996年に国際特許を取得）やパーティション等、アルミ材を用いた什器類である。その他、宇宙ビジネスや医療機器の開発にも果敢に挑戦を続ける。

● 所在地 千葉県白井市河原子240
● 電話/FAX 047-498-1111 / 047-491-7137
● URL <http://www.sofken.co.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 駒村 武夫

● 設立 1983年
● 資本金 2,400万円
● 従業員数 28人



生産性向上

製品開発力を活かして独創的なオリジナル製品を生み出す

同社オリジナルデザインの柄がプリントされたラミネートフィルムを独自の技法でアルミフレームに貼り込んだ額縁製品の『パタンパ』は、光沢とUV耐性を備えたラミネートフィルムを採用しており、100種以上のデザインをそろえている。また、珪藻土（けいそうど）が塗られたボードをパネル化した機能性パネルは、珪藻土の有用性を長年研究している会社と共同開発した。どちらの製品も、顧客の要望に応じて開発した同社ならではの製品である。常に新たな市場開拓を続け、全国展開をねらう。



アルミフレーム額縁『パタンパ』

ものづくり

基幹システムの再構築で業務効率化を促進

現在稼働している基幹システムが老朽化しているため、新システム構築に取り組んでいる。システム開発ベンダーへ任せきりにするのではなく、同社にとって最適なシステムをつくり上げることを最優先として社内プロジェクトを2018年3月に発足し、2019年6月からの稼働を予定している。新システム導入の効果として、個々でデータ加工が必要で無駄な工数がかかっていた業務を改善できることにより、大幅な工数削減を見込んでおり、業務効率化が更に進み、事業のスピードアップに拍車をかけていく。



自社国内工場生産が実現する短納期対応

女性とシニア層の積極的な採用が地域貢献につながる

2019年1月から4名（30代1名、60代2名、70代1名）のパートタイマー採用を実施。女性とシニア層の採用に対して積極的に取り組むことで地域に貢献する。人材採用に際しては、ワーキングシェアの考えに基づいて工場内の作業をローテーションで担当してもらい、無理のない作業を実現することで従業員のモチベーションアップを図っている。地域の雇用を生み出し、地域に貢献していく。人材採用から雇用、ひいては地域貢献までを一体の仕組みとして同社は捉えているのである。



社内イベントでは部署の垣根なく交流